

2018. 7. 5

一般社団法人静岡県信用金庫協会

第47回県内12信用金庫連携による合同景況調査結果

一般社団法人静岡県信用金庫協会（会長 御室 健一郎）は、平成17年10月以降、県内12信用金庫連携による合同景況調査を実施しています。

各信用金庫が協力して取引先企業1,364社にアンケート調査を実施し、1,358社から得た回答（有効回答率99.6%）をもとに、県内経済を支える地元企業を広く網羅して分析したものです。

静岡県信用金庫協会では、地域に密着した信用金庫ならではの情報提供を通じて地域に貢献し、信用金庫の存在意義を高めていきたいと考えております。

「県内中小企業等の景況感DIは小幅な悪化」

【概 況】

平成30年4～6月の県内中小企業等の業況DI（企業の景況感を示す、「良い」とする企業割合から「悪い」とする企業割合を引いた数値）は、前回調査時（平成30年1月～3月「以下同じ」）の▲2.2から▲3.1へと0.9ポイントの小幅な悪化となった。

業種別にみると、製造業、建設業がプラス水準を維持したほか、不動産業（前回調査▲7.7→今回調査11.4、以下同じ）がプラス化、卸売業（前回調査▲21.9→今回調査▲11.3）が改善したものの、サービス業（▲6.3→▲18.2）、小売業（▲24.4→▲28.4）が大幅な悪化となった。

これを地区別の業況DIで見ると、西部地区ではプラス幅が拡大、中部地区がマイナス幅が縮小し改善したものの、東部地区ではマイナス幅が拡大し悪化した（地区別の詳細は次頁のとおり）。

なお、各地区とも人手不足感の深刻化、原材料費の高騰などを経営課題として掲げている。

県内合計及び地区別DIの推移（全産業）

	2016 年			2017 年				2018年		
	4～6	7～9	10～12	1～3	4～6	7～9	10～12	1～3	4～6	7～9 (見通し)
東部地区	▲ 25.6	▲ 19.0	▲ 13.0	▲18.8	▲20.7	▲7.5	▲3.9	▲12.0	▲18.8	▲12.6
中部地区	▲ 22.7	▲ 7.3	0.6	▲10.4	▲2.7	4.4	6.7	▲6.3	▲2.3	3.6
西部地区	▲ 17.1	▲ 16.5	▲ 9.6	▲2.9	▲3.0	▲0.8	7.5	3.9	4.5	6.1
県内計	▲ 20.4	▲ 15.8	▲ 9.2	▲8.7	▲8.5	▲2.1	3.9	▲2.2	▲3.1	0.6

なお、平成30年7～9月の業況見通しは、西部ではプラス幅が拡大、中部ではプラス化、東部ではマイナス幅が縮小する見通しとしていることから、県全体では、0.6のプラス化予想となっている。

■ 東部地区

東部では、不動産業が17.9ポイント（▲25.0⇒▲7.1）、卸売業が12.9ポイント（▲35.5⇒▲22.6）と改善しているほか製造業がプラス水準（12.9⇒2.0）を維持したものの、サービス業▲22.9ポイント（▲11.1⇒▲34.0）、建設業▲12.3ポイント（0.0⇒▲12.3）、小売業▲5.6ポイント（▲36.9⇒▲42.5）と悪化したことから、全産業ベースの業況DIは前回調査時の▲12.0から▲18.8へと6.8ポイントの悪化となった。

製造業

業況は、人手不足・原材料高・売上の停滞・減少などから、設備導入を考えるものの、先行きの不透明感から実施までに至らない企業が多い。全体的には景況感が減退しているものの、独自の技術力を有している企業は受注が安定している企業もみられ業況DIのプラス水準は維持した。

今後の見通し（平成30年7～9月期・以下同じ）としては、原材料価格の高騰を懸念するものの、売上の増加により収益確保でき業況改善を見込んでいる。

（事業者の声）

- ・人員不足及び機械設備の老朽化が課題である。（プラスチックトレイ製造）
- ・為替レートや大手同業者の影響を受けやすい。（加工紙・板紙製造）
- ・製造原価上昇分を販売価格に転嫁できていない。（自動車用ボルト、ネジの電気亜鉛鍍金）
- ・後継者への事業継承を進行させている。後継者も各種支援制度、補助金などの活用を検討や、セミナーにも積極的に参加し、改善を図るよう努めている。（紙加工業）
- ・取引先からの増産の依頼が続いており、業況は好調である。人手不足が深刻であり、増産できる体制が構築できないことが課題である。（化粧用パフ）

卸売業

業況は、年度始めや期初の関係で納入先からの受注があって全体的には前回調査時に比べ改善している。

今後の見通しとしては、売上、収益ともに弱気な見方となっているが、業況改善を見込んでいる。

（事業者の声）

- ・仕入価格上昇を販売価格に転嫁できない。（海産物卸売）
- ・大手が中小メーカーに資本を入れ系列化することが増えている。（文具卸売）
- ・流通経路の変化及び取引先の廃業等により収益は年々減少している。取扱商品の変更や経費削減の企業努力をしているが、十分な成果は出ていない。（食料品）
- ・ペーパーレス化や古紙の海外輸出により、国内向け古紙の仕入が困難になってきている。（製紙原料卸）

小売業

業況は、大型量販店の攻勢により売上は低迷しており、収益についても低調であり厳しい状況。全体的には前回調査時より悪化している。

今後の見通しとしては夏季商戦における売上回復への期待感もあるが、更なる業況悪化を見込んでいる。

（事業者の声）

- ・業界は飽和状態、コンビニの廉価で美味しい商品販売でシェアが狭まる。（洋菓子製造）
- ・フリマアプリの情報通信業者が上場し、業況はさらに厳しくなることが予想される。（古着販売）
- ・宣伝・広告のセミナーに参加し、顧客ニーズの把握に努めている。（精肉・惣菜）
- ・健康食品を購入する顧客は固定化しており、売上に大きな変動はないが、大手も安価な健康食品を取扱っているため、顧客管理の強化とリピーターの確保が課題である。（健康食品）
- ・地域に根ざした店舗づくりで顧客確保を目指しているが、昨今の天候不順により農作物・海産物の安定仕入れに懸念が生じている。（食料品小売）

サービス業

業況は、売上・収益ともに低迷低調に推移しており前回調査時に比べ悪化している。

今後の見通しとしては、旅館業は夏季のハイシーズンに向け現在はインターネットの更新・固定顧客への営業に努め、その他サービス業についても業況は改善を見込んでいる。

(事業者の声)

- ・後継者不在、天候に左右されない売上の仕組みを作る。 (釣り船、釣り道具のレンタル)
- ・低価格店の算入で競業が激化、売上減少傾向。客数減少を付加価値（エステ、脱毛等）により集客見込む。 (美容院)
- ・売上・利益ともに安定はしているが、利幅が減少傾向である。ドライブレコーダーの設置提案等行い、付加価値を高める営業を展開している。 (自動車整備)
- ・取引先からの受注は増加しているが、派遣登録者の確保に苦慮している。製造業を中心に労働力確保の希望が強い。 (人材派遣)
- ・出玉規制強化により、売上が減少している。 (パチンコ店)

建設業

業況は、人材不足や従業員の高齢化が恒常的な問題となっている中、2020年のオリンピック関連の受注が、現状目立った動きなく前回調査時に比べ悪化している。

今後の見通しとしては、大手企業や首都圏からのオリンピックや新東名関連の受注増加への期待感から業況は改善を見込んでいる。

(事業者の声)

- ・募集しても人が集まらず、採用しても長続きしない状況が継続中。 (土木建設業)
- ・公共工事の入札が年々厳しくなってきた、受注額・利益ともに減少している。大手からの受注もあるが、利益率が悪いので受注を検討している。 (水道工事)
- ・後継者問題に直面しており、セミナー等へ積極的に参加している。従業員への承継が希望であり、承継に向けた準備・整備を行っている。 (土木工事)
- ・安定収入確保のため、建設主体からアパート・事務所等の建て貸しによる賃貸業へ転換を図っている。 (総合建設)

不動産業

業況は、経常的な商品物件の不足により同業者間の競争の激化や利幅の減少等の問題もあるが、全体的には前回調査時に比べ改善している。

今後の見通しとしては、消費税率アップによる駆け込み需要に期待しているが、現状は経費の削減により収益確保に邁進している。全体的には物件不足により業況は悪化を見込んでいる。

(事業者の声)

- ・独居老人死亡後の物件についての相談が増加傾向。 (不動産代理業、仲介業)
- ・消費税増税前に土地取得したい業者からの問い合わせ増加。 (不動産売買、仲介)
- ・老朽化している物件が多いが、お客様は新築物件を希望する客が多く、賃貸物件の空きが増加している。 (不動産管理・仲介)
- ・商品在庫を保有せず仲介に特化することでリスクを回避している。 (不動産仲介)

■中部地区

中部では、サービス業が▲31.6ポイント(11.1⇒▲20.5)とマイナス化し大幅な悪化となったものの、製造業がプラス化(▲5.3⇒1.4)、不動産業、建設業がプラスを維持したほか、卸売業(▲42.9⇒▲6.3)、小売業(▲20.0⇒▲17.6)が改善したことから、全産業ベースの業況DIは前回調査時の▲6.2から▲2.3へと3.9ポイントの改善となった。

製造業

業況は、原材料価格が大幅に上昇しているものの、売上が増加していることから、業況DIはプラス化した。
今後の見通しとしては、原材料価格の上昇は引き続き見込むものの、売上、受注の増加から、業況DIはプラス幅が拡大し改善の見込み。

(事業者の声)

- ・経営課題の一つである人手不足については、派遣社員の活用により柔軟に対応。(水産加工業)
- ・原材料の高騰と人材不足が最大の問題点である。(工作機械周辺装置製造業)
- ・求人を出しても人が集まらず、特に若者(20代)の就職希望者が少ない。(金属プレス業)
- ・従業員及びパートが高齢化しており、若手の人材確保が課題。(輸送用プラスチック製品)
- ・材料費の高騰や、競合との価格競争により単価反映が厳しい状況にある。(印刷業)

卸売業

業況は、仕入価格の大幅な上昇はあるものの、売上額・販売価格の増加から、改善している。
今後の見通しとしては、依然として仕入価格の上昇は懸念されているものの、売上の増加、販売価格の上昇を期待しており、業況DIはプラス化し改善の見込み。

(事業者の声)

- ・オリンピック関連の需要増はあまり感じられない。配送等の付加価値により、競合他社に比べ利幅の確保に成功している。(建材卸売業)
- ・仕入価格の上昇により販売価格への転嫁を検討、情報力の強化に取り組む。(鋼材卸売業)
- ・3K職場というイメージから慢性的な人手不足の状況。(マグロ卸売業)
- ・大型免許取得者が所有車両台数比で不足している事が課題。中長期的な事業承継についても検討している(鉄スクラップ卸売業)
- ・販路拡大についても、具体的な改善策が見当たらない(建築木材卸売業)

小売業

業況は、仕入価格が大幅に上昇している一方で、売上が横ばいであり、業況DIのマイナス幅は若干縮小している。
今後の見通しとしては、仕入価格の上昇により収益の減少が懸念され業況の悪化を見込んでいる。

(事業者の声)

- ・人手不足と賃金上昇による人件費の増加が問題であり、消費税増税への対応策も検討。(スーパー)
- ・ガソリンの仕入価格が上昇。仕入価格の変動については今後も注視し、随時販売価格へ転嫁していく。(ガソリンスタンド)
- ・PCでのデータ管理が進み、事務用品の需要が薄れてきている。(事務用品販売)
- ・人材の確保に関して重きを置いている。(家電小売業)
- ・人手の確保が大きな課題。人材確保と教育訓練による人材育成が必要。(酒販、調味食品)

サービス業

業況は、深刻な人手不足に加え材料価格の上昇もあり、業況DIのマイナス化し大幅な悪化となっている。
今後の見通しとしては、材料価格の上昇を引き続き予想しているものの、マイナス幅の縮小を見込んでいる。

(事業者の声)

- ・若手の人材不足が課題。(自動車整備業)
- ・人材不足は兼ねてから同社の課題であり、社員教育と共に対処を検討。(自動車整備販売)
- ・人材の確保が以前より難しい。人件費・燃料費の高騰により収益がやや低下。(警備業)
- ・人材不足が最大の問題であるが、依然として改善されていない。(飲食業)
- ・人材不足、ドライバーの高齢化に加え、燃料費高騰などで厳しい経営環境。(タクシー)
- ・同業他社との差別化がうまくできておらず、売上はやや減少傾向にある。材料価格の上昇に伴い、顧客への提供価格もやや上昇している。(鮮魚小売、宴会業)

建設業

業況は、売上額・施工高の若干の減少及び材料価格の大幅な上昇により、業況DIはプラスとなっているものの、プラス幅は縮小している。

今後の見通しとしては、材料価格は依然として高いものの、売上高、施工高の増加、収益の増加も予想されプラス幅の拡大を見込んでいる。

(事業者の声)

- ・業況順調に推移しているものの、人材不足のため人材の確保に力を注ぐ。(建築工事業)
- ・人手不足が自社の課題。社労士・税理士からのアドバイスを受けている。(舗装工事業)
- ・人材確保に苦慮している。また従業員の高齢化もある。(土木建設業)
- ・世代交代による人材の不足そのものは解消しつつあるが、技術やノウハウ等育成に課題があり、対策が急務であると感じている。(熱絶縁工事業)
- ・人材不足により受注機会を損失している。取引先の業況に左右される。(管工事)
- ・特殊建設の設計施工で同業他社との差別化を図り、内製化工場も完全稼働により利益率は改善。(一般住宅および店舗建設業)
- ・大手参入による競争激化により、引き続き厳しい経営環境下にある。(総合建設業)

不動産業

業況は、仕入価格の上昇、在庫不足がみられるが、売上、販売額は増加しており、業況DIは引き続き2桁を維持している。

今後の見通しとしては、売上や収益は現状維持が予想されるが、引き続き仕価格の上昇を予想していることもあり、プラス幅の縮小を見込んでいる。

(事業者の声)

- ・保有していた商品土地については半年程度で買い手が付いている。その半面在庫がなくなってきており、良い仕入れができるかがこれからの課題となる。(商品土地売買、不動産賃貸)
- ・商品用土地の入手が困難となってきた。現在は地元よりも関東方面の物件仲介が増加している。(不動産販売、仲介)
- ・焼津市の土地区画整理も終わりに近づいており、分譲地が多くなっている。(分譲販売)
- ・不動産取引は活発であるが、藤枝市内は、商品物件が不足。収益物件は、県外の不動産投資家による建設、購入が目立つ。(不動産売買)
- ・近隣エリアの商品物件は好調である。郊外の物件は販売が低調である。(土地分譲、仲介業)

■西部地区

西部では、小売業が悪化（▲11.0⇒▲20.5）したものの、製造業（11.7⇒10.6）がプラスを維持したほか、不動産業（7.4⇒17.0）をはじめサービス業（▲4.2⇒2.2）や建設業（7.3⇒7.5）の業況が改善したことに伴い、全産業ベースの業況DIはプラス水準を維持し前回調査時の3.9から今回4.5へと0.6ポイントの改善となった。

製造業

業況は、売上、収益が減少したため、業況DIのプラス幅が縮小したが、引き続き2桁のプラス水準を維持した。今後の見通しとしては、売上、収益の改善により、プラス幅の拡大を見込んでいる。

（事業者の声）

- ・受注増加に伴い、新規設備を導入した。（二輪車）
- ・モデルチェンジを控え、今後の受注増加を見込んでいる。（自動車）
- ・人手不足の深刻化を受け、機械化と社員教育に力を入れている。（機械）
- ・後継者がおらず、代表者の体調不良に事業継続が困難である。（金属）
- ・代表者に限らず従業員も高齢化しており人員確保、人材確保に努めている。（自動車）

卸売業

業況は、売上、収益が増加したことから、改善した。

今後の見通しとしては、販売価格の改善により、業況DIはプラス化し大幅な改善を見込んでいる。

（事業者の声）

- ・アジアへの販路拡大により、売上が増えている。（切削工具）
- ・昨年は厳しかったが、今年は全国的にもアサリは採れているため、今年こそは期待したい。（アサリ卸）
- ・人手不足が深刻である。（鉄鋼）
- ・輸送費高騰を懸念している。（木質素材）

小売業

業況は、売上や収益が減少したことに伴い、悪化している。業況DIの「悪い」超の高水準は依然として続いており、小売業と卸売業は他の業種と比べ景況感の水準が低迷していることから、個人消費の回復は遅いものとみられる。

今後の見通しとしては、売上や収益の増加により、業況の改善を見込んでいる。

（事業者の声）

- ・配送の値上げにより、収益が圧迫されている。（ギフト）
- ・低燃費自動車の普及率が高く、売上高は減少している。利益率の高い洗車、修理等で収益確保に努めている。（石油小売）
- ・季節的による新車販売も落ち着いてきたことから、修理、定期点検、車検等、顧客囲い込みに努めている。（自動車小売）

サービス業

業況は、売上や収益の増加に伴い、業況DIはプラス水準へと転じた。

今後の見通しとしては、売上や収益の増加から、業況DIのプラス幅の拡大を見込んでいる。

（事業者の声）

- ・需要が多く常に人手不足。需要に併せて料金値上げもでき収益確保できている。（霊柩運送）
- ・ラグビーW杯の需要を期待しており、体制整備を検討している。（ホテル）
- ・SNSを中心に宣伝を強化していく。（レジャー）
- ・大河ドラマ終了とウナギの価格の高止まりの影響で、売上減となっている。（飲食）

建設業

業況は、売上、受注残などの減少したものの、引き続きプラス水準を維持した。

今後の見通しとしては、収益の減少などにより、業況DIのマイナス化を見込んでいる。

(事業者の声)

- | | |
|-------------------------------------|-----------|
| ・リフォームが順調である。 | (一般建築工事業) |
| ・民間・公共工事ともに順調である。 | (総合工事業) |
| ・人手不足により、受注制限も行わざるを得ない。 | (建築工事業) |
| ・官民共に発注価格、件数減少傾向にあり事業活動に大きく左右される。 | (総合工事業) |
| ・求人情報会社への登録を含め様々なツールを使用し人材確保に努めている。 | (建築工事業) |

不動産業

業況は、売上は小幅に減少したものの、業況DIのプラス幅は拡大した。

今後の見通しとしては、プラス幅の縮小を見込んでいる。

(事業者の声)

- ・メガソーラーの売電収入が安定している。
- ・新たな取り組みとして、リノベーション事業を立ち上げた。
- ・相続、人口減少による空き家対策についての相談が増えてきている。
- ・地元以外の事業者からアパートのオーナーチェンジや太陽光発電用地の問合せを受けるようになった。

[お問い合わせ先]

(一社)静岡県信用金庫協会

電話：054-255-5530

1. 業況(全業種)

	今回調査(2018年4～6月期)						前回調査(2018年1～3月期)					
	良い	やや良い	普通	やや悪い	悪い	DI	良い	やや良い	普通	やや悪い	悪い	DI
東部地区	3.1%	14.2%	46.4%	29.6%	6.6%	▲ 18.8	3.1%	17.5%	46.8%	27.6%	5.0%	▲ 12.0
中部地区	4.9%	21.6%	44.6%	21.3%	7.5%	▲ 2.3	5.2%	17.7%	47.9%	22.9%	6.3%	▲ 6.3
西部地区	3.9%	22.9%	50.9%	19.0%	3.3%	4.5	4.1%	23.2%	49.3%	19.3%	4.1%	3.9
県内合計	3.9%	20.3%	48.3%	22.3%	5.1%	▲ 3.1	3.8%	20.9%	48.4%	22.3%	4.6%	▲ 2.2

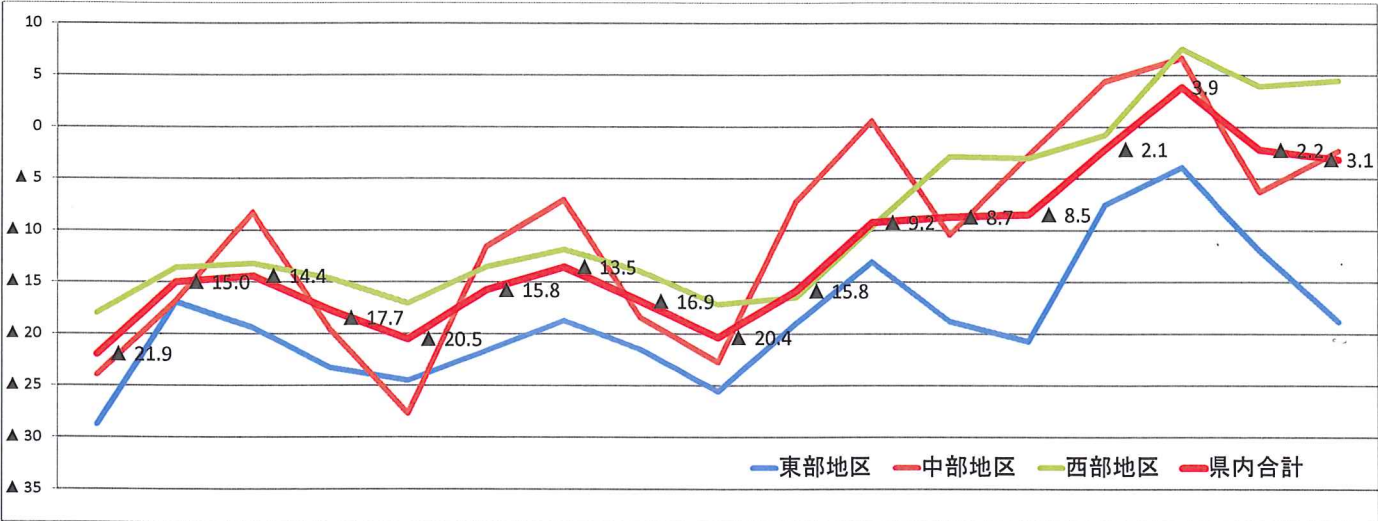
2. 業況予想(全業種)

	2018年7月～9月の業況予想					
	良い	やや良い	普通	やや悪い	悪い	DI
東部地区	3.4%	16.0%	48.7%	26.3%	5.6%	▲ 12.6
中部地区	5.2%	23.0%	47.2%	18.7%	5.9%	3.6
西部地区	3.3%	21.8%	55.7%	15.9%	3.2%	6.1
県内合計	3.8%	20.5%	52.0%	19.3%	4.4%	0.6

3. 業況(DI)の推移(全業種)

	2014年 4～6月期	2014年 7～9月期	2014年 10～12月期	2015年 1～3月期	2015年 4～6月期	2015年 7～9月期	2015年 10～12月期	2016年 1～3月期	2016年 4～6月期	2016年 7～9月期	2016年 10～12月期	2017年 1～3月期	2017年 4～6月期	2017年 7～9月期	2017年 10～12月期	2018年 1～3月期	2018年 4～6月期
東部地区	▲ 28.7	▲ 16.9	▲ 19.4	▲ 23.3	▲ 24.5	▲ 21.6	▲ 18.7	▲ 21.5	▲ 25.6	▲ 19.0	▲ 13.0	▲ 18.8	▲ 20.7	▲ 7.5	▲ 3.9	▲ 12.0	▲ 18.8
中部地区	▲ 23.9	▲ 16.8	▲ 8.2	▲ 19.6	▲ 27.7	▲ 11.6	▲ 7.0	▲ 18.4	▲ 22.7	▲ 7.3	0.6	▲ 10.4	▲ 2.7	4.4	6.7	▲ 6.3	▲ 2.3
西部地区	▲ 18.0	▲ 13.6	▲ 13.2	▲ 14.7	▲ 17.0	▲ 13.6	▲ 11.8	▲ 14.0	▲ 17.1	▲ 16.5	▲ 9.6	▲ 2.9	▲ 3.0	▲ 0.8	7.5	3.9	4.5
県内合計	▲ 21.9	▲ 15.0	▲ 14.4	▲ 17.7	▲ 20.5	▲ 15.8	▲ 13.5	▲ 16.9	▲ 20.4	▲ 15.8	▲ 9.2	▲ 8.7	▲ 8.5	▲ 2.1	3.9	▲ 2.2	▲ 3.1

県内合計及び地区別DIの推移(全産業)



資料 2
・業種別業況

1. 東部地区

	今回調査(2018年4～6月期)						前回調査(2018年1～3月期)					
	良い	やや良い	普通	やや悪い	悪い	DI	良い	やや良い	普通	やや悪い	悪い	DI
製造業	4.9%	22.5%	47.1%	18.6%	6.9%	2.0	4.0%	29.7%	45.5%	17.8%	3.0%	12.9
卸売業	0.0%	12.9%	51.6%	32.3%	3.2%	▲ 22.6	3.2%	3.2%	51.6%	35.5%	6.5%	▲ 35.5
小売業	1.3%	10.0%	35.0%	51.3%	2.5%	▲ 42.5	3.6%	6.0%	44.0%	39.3%	7.1%	▲ 36.9
サービス業	3.8%	3.8%	50.9%	24.5%	17.0%	▲ 34.0	3.7%	18.5%	44.4%	24.1%	9.3%	▲ 11.1
建設業	1.8%	15.8%	52.6%	24.6%	5.3%	▲ 12.3	1.8%	22.8%	50.9%	21.1%	3.5%	0.0
不動産業	7.1%	14.3%	50.0%	25.0%	3.6%	▲ 7.1	0.0%	12.5%	50.0%	37.5%	0.0%	▲ 25.0
全業種	3.1%	14.2%	46.4%	29.6%	6.6%	▲ 18.8	3.1%	17.5%	46.8%	27.6%	5.0%	▲ 12.0

2. 中部地区

	今回調査(2018年4～6月期)						前回調査(2018年1～3月期)					
	良い	やや良い	普通	やや悪い	悪い	DI	良い	やや良い	普通	やや悪い	悪い	DI
製造業	5.6%	25.0%	40.3%	22.2%	6.9%	1.4	7.9%	15.8%	47.4%	18.4%	10.5%	▲ 5.3
卸売業	4.2%	14.6%	56.3%	18.8%	6.3%	▲ 6.3	0.0%	0.0%	57.1%	42.9%	0.0%	▲ 42.9
小売業	2.0%	21.6%	35.3%	29.4%	11.8%	▲ 17.6	0.0%	13.3%	53.3%	33.3%	0.0%	▲ 20.0
サービス業	6.8%	9.1%	47.7%	31.8%	4.5%	▲ 20.5	0.0%	33.3%	44.4%	22.2%	0.0%	11.1
建設業	2.1%	31.3%	45.8%	12.5%	8.3%	12.5	0.0%	42.9%	35.7%	7.1%	14.3%	21.4
不動産業	9.5%	26.2%	45.2%	11.9%	7.1%	16.7	33.3%	0.0%	50.0%	16.7%	0.0%	16.7
全業種	4.9%	21.6%	44.6%	21.3%	7.5%	▲ 2.3	5.2%	17.7%	47.9%	22.9%	6.3%	▲ 6.2

3. 西部地区

	今回調査(2018年4～6月期)						前回調査(2018年1～3月期)					
	良い	やや良い	普通	やや悪い	悪い	DI	良い	やや良い	普通	やや悪い	悪い	DI
製造業	5.0%	25.7%	49.2%	16.5%	3.6%	10.6	4.6%	25.0%	52.5%	15.4%	2.5%	11.7
卸売業	2.5%	21.0%	43.2%	28.4%	4.9%	▲ 9.9	2.4%	18.1%	45.8%	25.3%	8.4%	▲ 13.3
小売業	1.4%	9.6%	57.5%	27.4%	4.1%	▲ 20.5	2.7%	23.3%	37.0%	27.4%	9.6%	▲ 11.0
サービス業	0.0%	19.6%	63.0%	15.2%	2.2%	2.2	2.1%	18.8%	54.2%	22.9%	2.1%	▲ 4.2
建設業	3.8%	23.8%	52.5%	18.8%	1.3%	7.5	3.7%	23.2%	53.7%	18.3%	1.2%	7.3
不動産業	5.7%	26.4%	52.8%	13.2%	1.9%	17.0	11.1%	25.9%	33.3%	22.2%	7.4%	7.4
全業種	3.9%	22.9%	50.9%	19.0%	3.3%	4.5	4.1%	23.2%	49.3%	19.3%	4.1%	3.9

4. 県内合計

	今回調査(2018年4～6月期)						前回調査(2018年1～3月期)					
	良い	やや良い	普通	やや悪い	悪い	DI		やや良い	普通	やや悪い	悪い	DI
製造業	5.1%	25.0%	47.6%	17.7%	4.7%	7.7	4.8%	25.3%	50.5%	16.2%	3.2%	10.6
卸売業	2.5%	17.5%	48.8%	26.3%	5.0%	▲ 11.3	2.3%	12.5%	48.4%	29.7%	7.0%	▲ 21.9
小売業	1.5%	12.7%	43.1%	37.3%	5.4%	▲ 28.4	2.9%	14.0%	41.9%	33.7%	7.6%	▲ 24.4
サービス業	3.5%	10.5%	53.8%	23.8%	8.4%	▲ 18.2	2.7%	19.8%	48.6%	23.4%	5.4%	▲ 6.3
建設業	2.7%	23.2%	50.8%	18.9%	4.3%	2.7	2.6%	24.8%	51.0%	18.3%	3.3%	5.9
不動産業	7.3%	23.6%	49.6%	15.4%	4.1%	11.4	7.7%	16.9%	43.1%	29.2%	3.1%	▲ 7.7
全業種	3.9%	20.3%	48.3%	22.3%	5.1%	▲ 3.1	3.8%	20.9%	48.4%	22.3%	4.6%	▲ 2.2

資料 3
・業種別予想

1. 東部地区

	2018年7月～9月の業況予想					
	良い	やや良い	普通	やや悪い	悪い	DI
製造業	5.9%	19.6%	56.9%	14.7%	2.9%	7.8
卸売業	0.0%	19.4%	45.2%	35.5%	0.0%	▲ 16.1
小売業	1.2%	9.3%	38.4%	43.0%	8.1%	▲ 40.7
サービス業	3.8%	15.1%	50.9%	17.0%	13.2%	▲ 11.3
建設業	3.5%	17.5%	52.6%	22.8%	3.5%	▲ 5.3
不動産業	3.6%	17.9%	42.9%	32.1%	3.6%	▲ 14.3
全業種	3.4%	16.0%	48.7%	26.3%	5.6%	▲ 12.6

2. 中部地区

	2018年7月～9月の業況予想					
	良い	やや良い	普通	やや悪い	悪い	DI
製造業	8.3%	25.0%	37.5%	23.6%	5.6%	4.2
卸売業	6.3%	18.8%	58.3%	12.5%	4.2%	8.3
小売業	3.9%	11.8%	45.1%	27.5%	11.8%	▲ 23.5
サービス業	4.5%	18.2%	47.7%	22.7%	6.8%	▲ 6.8
建設業	4.2%	39.6%	50.0%	4.2%	2.1%	37.5
不動産業	2.4%	23.8%	50.0%	19.0%	4.8%	2.4
全業種	5.2%	23.0%	47.2%	18.7%	5.9%	3.6

3. 西部地区

	2018年7月～9月の業況予想					
	良い	やや良い	普通	やや悪い	悪い	DI
製造業	5.0%	25.2%	53.2%	13.2%	3.4%	13.7
卸売業	0.0%	25.0%	52.5%	18.8%	3.8%	2.5
小売業	2.7%	15.1%	46.6%	30.1%	5.5%	▲ 17.8
サービス業	2.2%	13.0%	76.1%	6.5%	2.2%	6.5
建設業	1.3%	17.9%	59.0%	20.5%	1.3%	▲ 2.6
不動産業	1.9%	17.0%	67.9%	11.3%	1.9%	5.7
全業種	3.3%	21.8%	55.7%	15.9%	3.2%	6.1

4. 県内合計

	2018年7月～9月の業況予想					
	良い	やや良い	普通	やや悪い	悪い	DI
製造業	5.6%	24.1%	51.8%	14.9%	3.6%	11.3
卸売業	1.9%	22.0%	52.8%	20.1%	3.1%	0.6
小売業	2.4%	11.9%	42.9%	34.8%	8.1%	▲ 28.6
サービス業	3.5%	15.4%	58.0%	15.4%	7.7%	▲ 4.2
建設業	2.7%	23.5%	54.6%	16.9%	2.2%	7.1
不動産業	2.4%	19.5%	56.1%	18.7%	3.3%	0.0
全業種	3.8%	20.5%	52.0%	19.3%	4.4%	0.6